

第7回人材育成フォーラム

「男女の違いを認識して」「女性リーダー」で増田啓子氏

第7回人材育成フォーラム(人材育成委員会主催)が3月13日、日遊協本部会議室で開かれ、会員企業の人事担当者(中堅層)として、女性10人を含む24人(16社)が参加した。テーマは昨年7月27日、同11月16日、今年2月15日に引き続き「女性が活躍できる組織づくり」。今回は「女性リーダー育成編」として、人材開発に関するコンサルタントや社員教育研修の(株)キャリアブロッサム代表取締役、増田啓子氏が講演した。増田氏は西武百貨店、ルイ・ヴィトンジャパン等で、採用・トレーニングマネージャーとして人材開発業務に携わってきた。

多角的にディスカッション

増田氏は講演の冒頭、「男性部下と女性部下の違い」「男性上司と女性上司の違い」「男性の仕事、女性の仕事」など5つの命題を5つの班に投じて意見を出させ、その後も随所にグループディスカッションの

場を設けて話を進めた。「マネジメント」「リーダーシップ」の定義の後、「女性リーダー育成のポイント」を様々な角度から分析し、その中で「明確な目標設定と達成のためのサポート」「自律(権限の委譲)」「コーチング」「ストローク(ほめる、認める)」「平等な機会提供(選抜させる)」と公正な評価」をポイントに挙げた。講演の後、参加者の中から(株)ユーコー、(有)新日邦の2社の代表が自社の取り組みを紹介した。最後に班ごとにフリーディスカッションを行った。

東日本大震災2周年

黙とうなど哀悼行動

日遊協など会員に文書

日遊協は3月8日、全会員に向けて「東日本大震災2周年を迎えるための対応について」と題する文書を発し、震災発生時の11日午後2時46分にそれぞれの場所で黙とうなど適切と思われる方法で、犠牲となったすべての方々に対し哀悼



講演の中で取り入れた班ごとのディスカッションに耳を傾ける増田啓子氏(右奥、立っている)

の意を表してほしいと要請した。

これについては2月26日、内閣総理大臣談話として、震災当日の午後2時46分にそれぞれの場所で黙とうを捧げてほしいという要請が国民に向けて出されていた。3月11日に、会員企業の多くで黙とうが行われ、看板・ネオンなどの消灯が行われた。

また、全日遊連も3月7日、各都府県方面遊協(連)に宛てて文書を発し、震災当日のネオン、看板照明等の外壁照明の終日消灯などを、傘下のホールに協力してもらうよう要請した。

日遊協の要請は次の通り。

「来る3月11日(月)に東日本大震災の発生から2周年を迎え、天皇皇后両陛下ご臨席の下追悼式が挙行され、震災発生時刻の午後2時46分黙とうを捧げることにしております。その際、内閣総理大臣談話

にある通り、その時刻に合わせ、広く国民一般の方々にも黙とうを捧げられるよう要請されております。会員の皆様には、その趣旨を十分お汲み取りいただき、それぞれの場所において、適切と思われる方法での哀悼の意を表していただきますようお願いいたします」

不正対策室会議

昨年2月比で250件減

不正対策室会議(室長・伊東慎吾 日遊協常務理事)は3月11日、日遊協本部会議室で開かれPSIO(不正対策情報機構)への入力状況の報告を行い、委員13人がゴト・不正情報について検討した。2月のPSIOオープンネット(業界及び一般ファンからの不正情報)は、業界から26件、一般ファンから481件の入力があった。一般ファンの入力は前月1月の522件より41件減り、昨年2月に比べると、250件(昨年2月731件)減っている。不正情報では、遠隔操作と主張するケースが相変わらず多いが、データカウンターの不正確さについての情報が増えており、ネットを使った不当な広告宣伝についても散見される。